

1. 基本事項

事務事業名	母子保健事業			事務事業コード	213-101-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	1	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する	担当者	笹美香
	施策名	3	子どもの発育支援	内線	513
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	母子保健法第5条				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	母子保健事業費	予算コード	01-040101-0301
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 40 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	妊娠・出産・育児期において、早期に支援を開始し、母親が安心して育児に取り組むことができ、また、子どもが心身共に健全に成長できるように促す。	事業内容	母子健康手帳の交付時の保健指導。健康相談の実施。妊婦健診、乳幼児健診、健康教育、家庭訪問の実施。		
対象	妊婦、乳幼児とその保護者				
目指す状態	疾病の早期発見、健康の保持増進を図る。育児支援により、育児不安の解消を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	4,146	4,039	3,948	3,433	3,388	3,481	3,530
			達成率							
活動指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	22	22	24	24	24	22	24
			達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	91.7%	99%
成果指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	99	98	100	99	100	99	100
			達成率	99%	98%	100%	99%	100.0%	99%	100
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) 国の緊急事態宣言を受け、3月の乳幼児相談は中止とした。 ○平成31(令和元)年度子育て世代包括支援センター 要支援プラン作成 66件(妊婦27件、乳幼児39件) 産後サポート電話相談 178件 プレママ広場 4回31人 ママと赤ちゃんルーム 6回126人 乳幼児全戸訪問事業 179件 養育支援訪問事業 実27人、延べ80人									
成果(どのような状態になったか)	妊娠期・乳幼児の健診により疾病の早期発見、健康の保持増進につながっている。専門職への相談の場の提供により育児不安の軽減が図られた。要支援プランの作成により、適切な支援に結びつけることができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	22,936	21,504	22,544	25,619	23,796	23,001	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金		1,612			125	605	(国)母子保健衛生費国庫補助金	573
	県支出金	54	45	50	295	342	334	(国)子ども・子育て支援交付金	32
	受益者負担							(県)ようこそ赤ちゃん安心子育て応援事業	265
	その他特財							(県)子ども・子育て支援交付金	69
	一般財源	22,882	19,847	22,494	25,324	23,329	22,062	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	15,616	16,397	17,030	19,370	18,947	24,818	謝金	1,819	
内訳	正規職員(人)	2.00	2.10	2.20	2.45	2.48	3.19	需用費	987
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	役務費	77
費用合計(①+②)	38,552	37,901	39,574	44,989	42,743	47,819	委託料	17,816	
臨時嘱託等(人)							使用料および賃借料	49	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							負担金補助及び交付金	2,253	

1. 基本事項

事務事業名	特定不妊治療費助成事業			事務事業コード	213-102-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	1	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する	担当者	秋保 光佐
	施策名	3	子どもの発育支援	内線	513
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	母子保健事業費	予算コード	01-040101-0301
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 S25 年度 ~ 終期 R2 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	不妊治療に係る費用を軽減させ、より治療しやすい環境をつくることにより、少子化対策に寄与する。	事業内容	特定不妊治療に係る治療費の一部を助成する。		
対象	法律上の婚姻関係にある夫婦で、特定不妊治療以外の治療法によっては、妊娠の見込みがないか又は極めて少ないと医師が判断され、指定医療機関において特定不妊治療を実施した夫婦。				
目指す状態	経費の助成をすることで、不妊に悩む夫婦が特定不妊治療を受けやすくする。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	20歳から43歳までの男女(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	9,131	8,956	8,855	8,946	8,466	8,193	7,990
活動指標	指標名称	申請受理件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
実績	18	21	19	31	17	20	-			
成果指標	指標名称	助成延べ件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
実績	18	21	19	31	17	20	-			
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	・助成金の交付は、1回の治療につき10万円を限度とする。 ・特定不妊治療費には、男性不妊治療費も含む。									
成果(どのような状態になったか)	治療費の一部を助成することで、経済的負担を軽減し、助成した延べ20件のうち、8件の妊娠につながった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①		1,613	1,773	2,578	1,358	1,818	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	0	1,613	1,773	2,578	1,358	1,818	主な歳出の内訳
人件費・・・②	3,904	3,904	3,904	1,581	1,528	1,556	負担金及び交付金	
内訳	正規職員(人)	0.50	0.50	0.50	0.20	0.20	(特定不妊治療補助金)	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	1,818
費用合計(①+②)	3,904	5,517	5,677	4,159	2,886	3,374		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	前年に比べ受理件数が増加したため。							

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	不妊治療助成対象者20件(実18組)のうち、8件が妊娠に結びついている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	妊婦の高齢化が進んでいる。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	対象者の、助成後の自己負担額は平均で約19万円であり、助成額の増額を検討が必要である。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	事業費は助成額に直結するため、事業の削減は成果の縮小につながる。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	補助申請等の業務であり変更はできない。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市民に対する助成のため、できない。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	公費としての助成であり、できない。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	少子化対策として実績あり。

↓

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
助成した延べ20件(実18組)のうち8件が妊娠に結びついた。内訳をみると申請者の半数が10万円以下の自己負担額であった。近年の妊婦の高齢化傾向から、今後不妊治療者の自己負担額が高額である人は増加することが考えられる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

昨年度個人の経済負担が課題となり、助成額の増額の有無を検討するため、新庄市への申請状況と、他市町村の助成状況を調査した。平成31年4月時点で、県内35市町村のうち、21市町村が市と同等の10万円を上限とした助成を行っていた。令和2年4月の時点では19市町村が10万円を上限とした助成を行っており、今後助成額の引き上げを検討する。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
他市町村の助成状況を参考に、申請者の経済負担状況とその傾向について分析し、助成額の再検討を行う。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	少子化対策にダイレクトに効果がある数少ない事業であり、助成額を拡充していく必要がある。	所属長評価	人口減少抑制のため、対象者にも市としても効果的な事業であり、13市平均並みに助成額を引き上げる必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	最上地域保健医療対策協議会運営事業			事務事業コード	221-101-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	佐藤 里美
	施策名	1	医療体制の充実	内線	513
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	最上地域保健医療対策協議会規約				
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	職員給与費	予算コード	01-040101-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 S52 年度 ~ 終期 R2 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	地域の保健医療を確保し、その向上を図るため総合的かつ効果的な対策を推進する。	事業内容	圏域の行政、医師会、病院等医療機関、保健医療関係団体等が地域医療の充実を図るための諸事業の企画及び運営を行う。		
対象	最上地域の住民、若しくは出身者等				
目指す状態	地域住民が保健や医療面で安心して暮らせる体制づくりを目指す。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	最上地域の住民(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	79,176	77,795	77,090	76,024	73,337	71,852	70,000
説明(算式等)	山形県の人口と世帯数参照		達成率							
活動指標	指標名称	委員会、幹事会、事務局会議開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	5	5	5	5	6	5	5
説明(算式等)			達成率	100%	100%	100%	100%	120%	100.0%	5
成果指標	指標名称	年間事業開催数(回)(委員会、幹事会を除く事業数)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	15	10	15	19	22	27	15
説明(算式等)			達成率	100%	67%	100%	127%	147%	180.0%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	令和元年度の主な事業内容 (平成30年度回数)									
	・医療従事者確保対策事業									
	医学生研修0回(1回)、看護学生研修1回(1回)、中高生向け動機付け学習会14回(14回)、情報誌の作成等									
	・保健医療対策事業									
	小児初期救急研修会1回(1回)、時間外救急医療体制検討会1回(1回)、地域医療看護師研修会4回(新規)、医療従事者への感謝状贈呈等									
	・救急医療対策事業									
中学生対象応急手当講習会1回(1回)、災害救護活動備品支援、救急講習会(住民対象)										
・専門部会										
メディカルコントロール専門部会1回(1回)、災害医療対策専門部会2回(1回)、災害医療対策ワーキンググループ2回(新規)										
成果(どのような状態になったか)	医療従事者確保対策の看護学生研修では8名参加と、最上地域での就労への関心が高く、一定の成果がみられている。新たに災害医療対策ワーキンググループを開催し、今後継続して取組む。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	608	608	608	608	608	958	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	608	608	608	608	608	958	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	5,466	5,466	5,419	4,348	4,431	5,991	負担金	958	
内訳	正規職員(人)	0.70	0.70	0.70	0.55	0.58	0.77	人口割(50%) 479,000円	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	財政割(50%) 479,000円	
費用合計(①+②)	6,074	6,074	6,027	4,956	5,039	6,949	合計 958,000円		
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	災害医療対策の対応強化のため、災害医療対策ワーキンググループを設置し新規に2回、また地域における看護の充実を図るため、新規に4回研修会を実施したため。								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地域医療の充実を図るための施策に結びついており、新庄最上定住自立圏事業としても取り組んでいる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	二次医療圏として広域的な取り組みが必要であり、新庄最上定住自立圏事業として位置づけし実施している。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	地域医療構想や県立新庄病院改築整備計画の推進連携や、新たに設置した災害医療対策ワーキンググループについて継続して取り組む必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	最上8市町村の負担金で運営で運営されており、事業実施状況から削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事務局として協議会運営を行っており、変更は難しい。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	最上8市町村の連携を行っている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	協議会委員として民間医療機関が参画している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	医療従事者の不足や県立新庄病院改築整備への対応は、最上地域医療圏の喫緊の課題である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)

医療従事者確保のための医学生、看護学生研修の継続に加え、地域看護の充実を図るため地域看護師研修会の開催や災害医療対策について、対応強化を図るために新たに災害医療対策ワーキンググループを設置したが、継続した協議の開催や事業開催が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

- ・看護学生研修1回。
- ・地域看護師研修2テーマ実施。
- ・時間外医療体制検討会1回。
- ・災害医療対策専門部会2回実施。
- ・災害医療対策ワーキンググループ2回実施。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)

もがみ看護師ネットワーク協議会と協力し、2テーマ計4回の地域看護師研修会を実施したが、地域における看護の充実を図るため研修会を継続し実施する。災害医療対策についても関係機関の情報共有を図るため専門部会に加えワーキンググループを継続して実施する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	医学生、看護学生研修の更なる充実を図り従事者確保につなげるとともに、県立新庄病院改築に向け連携を強化していく。	所属長評価	組織目標達成に資する事業の再検討、構築が必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	レセプト点検事業			事務事業コード	221-202-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	鏡 彰広
	施策名	1	医療体制の充実	内線	511
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	国民健康保険法第45条第4項				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	国民健康保険事業特別会計	1款1項1目	一般管理事業費	予算コード	02-010101-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 昭和 33 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	医療費の適正支出を目的とする。	事業内容	県国民健康保険団体連合会から毎月送付されてくるレセプトを、1枚ずつ見て点検する。		
対象	診療報酬明細書(レセプト)				
目指す状態	レセプトを点検することにより、診療報酬点数や国保資格、給付制限(第三者行為等)、重複受診、重複請求等の誤りを見つけ、医療費の適正化を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	送付レセプト数(枚)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
	説明(算式等)		実績	159,848	154,261	147,128	136,440	135,388	130,577	—	
活動指標	指標名称	レセプト点検枚数(枚)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
	説明(算式等)		実績	159,848	154,261	147,128	136,440	135,388	130,577	—	
成果指標	指標名称	—	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
	説明(算式等)		実績								
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	○レセプト点検事業により過誤調整した金額 (単位:円)										
	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	金額	7,438,060	4,365,187	5,053,355	11,444,986	2,322,699	4,488,877	2,276,200	1,201,367	8,096,312	2,099,915
成果(どのような状態になったか)	誤った請求を正すことで、医療費の適正化が図られる。ただし、二次点検であることから、過誤調整額は国保連が行う一次点検の審査精度の影響を受けるため、年度により金額の大小に差が生じている。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	3,367	3,367	3,367	3,466	3,554	3,819	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						県支出金(特別交付金)		3,745
	県支出金				3,503	3,745			
	受益者負担								
	その他特財	3,367	3,367	3,367	3,466				
一般財源	0	0	0	0	51	74	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	2,811	2,811	2,787	2,846	2,750	2,801	適正医療専門員報酬		3,819
内訳	正規職員(人)	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	6,178	6,178	6,154	6,312	6,304	6,620			
臨時嘱託等(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00			
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

1. 基本事項

事務事業名	夜間休日診療所運営事業			事務事業コード	221-301-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	佐藤 里美
	施策名	1	医療体制の充実	内線	513
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市夜間休日診療所設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	4款1項5目	夜間休日診療所管理運営事業費	予算コード	01-040105-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 H18 年度 ~ 終期 R2 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	新庄・最上地域の夜間・休日診療について、定点による診療所を設置し、時間外診療体制の充実を図る。	事業内容	市が運営する診療所で、新庄市最上郡医師会から派遣された医師による診療を実施。		
対象	初期救急患者				
目指す状態	一般の医療機関が閉まっている時間帯の診療対応。県立新庄病院への患者集中の緩和。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	最上地域の住民(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
	実績			79,176	77,795	77,090	76,024	73,337	71,852	70,000	
	説明(算式等)	山形県の人口と世帯数参照	達成率								
活動指標	指標名称	診療日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
	実績			365	366	365	365	365	364	365	
	説明(算式等)	達成率は、診療日数/年間日数	達成率	100	100	100	100	100	99.7%		
成果指標	指標名称	年間延受診者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
	実績			4,475	4,441	4,194	3,922	4,035	3,299	—	
	説明(算式等)		達成率								
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	患者数内訳(人)	H27	H28	H29	H30	R元					
	平日夜間	1,963	1,830	1,654	1,614	1,356					
	休日日中	2,478	2,364	2,268	2,421	1,943					
	市町村別受診者数										
R1	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	その他	合計	
	1,899	134	111	216	186	197	188	170	198	3,299	
	57.6%	36.4%						6.0%	100%		
成果(どのような状態になったか)	患者数は、最上地域で約94%(新庄市約58%、最上地域町村約36%)を占め、地域の利用が定着しており、一次救急医療機関の役割を果たしている。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)			
事業費・・・①	32,871	32,401	31,579	33,334	33,575	31,523	歳入の積算内訳			
内訳	国庫支出金						診療報酬収入(自己負担分)		2,896	
	県支出金						診療報酬収入(保険分)		20,061	
	受益者負担	33,501	30,132	29,329	2,978	3,005	2,916	診断書交付手数料		20
	その他特財				24,852	24,675	20,061	一般財源		8,546
	一般財源	-630	2,269	2,250	5,504	5,895	8,546	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	5,466	5,466	4,645	4,744	5,348	5,446	嘱託看護師報酬		6,316	
内訳	正規職員(人)	0.70	0.70	0.60	0.60	0.70	0.70	臨時看護師賃金		808
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	医薬材料費		2,479
費用合計(①+②)	38,337	37,867	36,224	38,078	38,923	36,969	医療業務委託料		14,587	
臨時嘱託等(人)	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	医療事務委託料		4,578	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							感染性廃棄物収集運搬業務委託料		25	
							調剤業務委託料		634	

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	夜間・休日と病院が閉まっている時間帯に診療所を開くことで、医療体制を充実させている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	対象は初期救急患者である。重症患者を診療できる県立新庄病院との機能分担を図っている。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	県立新庄病院改築整備に合わせた夜間休日診療機能移転について改築整備計画に盛り込まれ、関係機関と協議を行った。今後も協議の継続が必要である。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	人件費と医薬材料費等の事業費であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	診療に見合った体制であり、人員削減は難しい。
	⑥他自治体と連携できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	他市町村の診療所より医師派遣の協力を受けている。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	地元の医師会や薬剤師会からの協力を得ているため、官民共同の事業となっている。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	県立新庄病院の混雑の回避に寄与している。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
地域の医師が高齢化等により減少し、特に日曜日・祝日の当番医確保に苦慮している状況で、医師の確保が継続した課題である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

・新庄市夜間休日診療所運営委員会(1回) ・時間外救急医療体制検討会(1回) (最上地域保健医療対策協議会の事業と連携)
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
医師会との協議により、大型連休中、他医療機関が診察を行っていた2日間を休診とした。通年運営を前提としながら、今後の勤務体制等について夜間休日診療所の機能移転も含め、継続して協議を実施する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	設置目的を達成している施設であり、今後も通年運営体制を維持し、夜間休日診療所機能移転についての関係機関との協議を継続していく。	所属長評価	地域の安心安全を確保し、県立新庄病院の負担軽減を図る施設であり、医師会と連携しながら運営していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	ドクターヘリ運用に係るランデブーポイント確保事業			事務事業コード	221-302-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	佐藤 里美
	施策名	1	医療体制の充実	内線	514
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	保健衛生総務事業費	予算コード	01-040101-0002
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 S25 年度 ~ 終期 R2 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	ドクターヘリの効果的な運用を図るためには、冬期間の安全性と確実性を考慮したドクターヘリ離発着専用地を確保し、医療体制の充実を図る。	事業内容	陸上競技場駐車場除雪委託料 除雪ドーザー8t級(陸上競技場脇の武道館まで除雪している) 委託単価21,000円(令和元年度 1時間あたり)		
対象	最上地域の現場救急件数(冬期間:12~3月)				
目指す状態	住民の高度医療に対するニーズに合わせた救急医療の充実と体制整備を目指す。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	最上地域の現場救急件数(件) (冬期間12~3月ドクターヘリ要請件数)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
	実績			5	6	5	10	7	7		
	説明(算式等)	最上広域消防本部実績報告より	達成率							—	
活動指標	指標名称	ドクターヘリ離発着場の除雪回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
	実績			26	15	18	26	17	6		
	説明(算式等)		達成率							—	
成果指標	指標名称	冬期間のドクターヘリ利用回数(回) (冬期間12~3月市陸上競技場利用)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
	実績			1	1	0	3	5	4		
	説明(算式等)	最上広域消防本部実績報告より	達成率							—	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	ドクターヘリ利用回数										
		12月	1月	2月	3月	合計					
	H27	1	0	0	0	1					
	H28	0	0	0	0	0					
	H29	1	1	1	0	3					
	H30	0	1	1	3	5					
R1	2	1	0	1	4						
※除雪によるランデブーポイント確保目的のため冬期利用を指標とする。											
成果(どのような状態になったか)	冬期間の緊急搬送体制が整備され、市民の安全・安心につながっている。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	272	167	268	313	213	83	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	272	167	268	313	213	83	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	781	781	1,161	553	611	622	除排雪業務委託料		
内訳	正規職員(人)	0.10	0.10	0.15	0.07	0.08	0.08	陸上競技場駐車場駐車場除雪委託料(除雪ドーザー8t級)	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	@21,000*(215分/60)*1.1	83
費用合計(①+②)	1,053	948	1,429	866	824	705			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	前年に比べ積雪量が減少したため。								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	冬季の緊急搬送の体制確保により、安心・安全な医療体制を市民に提供できている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	緊急搬送の体制確保として、適切である。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input checked="" type="radio"/> 向上の余地がない <input type="radio"/> 向上の余地がある	県立新庄病院に近い発着場確保を検討した経過があるが、現状以外の場所確保は困難である。
効率性	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	降雪状況に合わせた出勤を要請しており、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	降雪状況に合わせた出勤を要請しており、削減は難しい。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	新庄市保有施設の利用であり、連携は考えにくい。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	緊急搬送という点から、協働は考えにくい。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	冬季の救急医療体制を確保することは、地域の実情に合った事業である。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
関係機関と連携し、冬季の救急医療体制確保の継続が必要である。今後は、県立新庄病院改築移転に合わせて病院敷地内にランデブーポイントが設置される予定である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

山形県ドクターヘリ症例検討会に参加し、また最上広域消防本部に運行状況を確認し、離発着場の確保継続に努めている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
関係機関である山形県及び最上広域消防本部より、ドクターヘリの運行状況等を確認し、離発着場の確保継続に努める。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	冬季の救急医療体制確保のため、今後も事業継続していく。	所属長評価	県立新庄病院改築までは事業を継続していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	献血推進事業			事務事業コード	221-303-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	川田 健介
	施策名	1	医療体制の充実	内線	515
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律第5条				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	献血推進事業費	予算コード	01-040101-0400
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 昭和 31 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	安全な血液製剤の安定供給の確保を図る。	事業内容	保健所やライオンズクラブ、高校生ボランティアサークルと協力し、市内各事業所に呼びかけ、協力団体、協力者、場所等を確保する。		
対象	16歳~69歳(献血可能年齢)の新庄市民				
目指す状態	医療機関への供給数をもとに県から割り当てられた献血者数・量の達成。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	16歳~69歳(献血可能年齢)の市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
	実績			24,571	24,146	23,763	23,606	23,275	22,743	22,500	
	説明(算式等)		達成率								
活動指標	指標名称	献血バス稼働台数(台)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
	実績			25	24	26	25	27	20	-	
	説明(算式等)	血液センターからの要請稼働台数の達成	達成率								
成果指標	指標名称	県からの要請献血単位数の達成率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
	実績			110.3	118.1	141.7	137.7	140.1	112	100	
	説明(算式等)	年度毎の要請献血単位数達成を目指す	達成率	110.3%	118.1%	141.7%	137.7%	140.1%	112.2%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	<ul style="list-style-type: none"> 献血バス稼働台数は、血液の需要状況に応じ、血液センターで決定する。 献血目標である血液単位数は、県が国の計画等に基づき決定する。 										
	目標血液単位数(1単位:血液200ml)										
		年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1			
		実績	1,800	1,620	1,530	1,537	1,542	1,547			
	実績	1,985	1,914	2,168	2,117	2,161	1,736				
	達成率	110.3%	118.1%	141.7%	137.7%	140.1%	112.2%				
成果(どのような状態になったか)	県から割り当てられた献血者数・量を達成することができ、血液製剤を必要とする人に安定して供給することができた。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	320	315	318	320	251	162	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	320	315	318	320	251	307	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	3,904	3,904	2,322	949	917	934	報償費(献血者記念品)	162
内訳	正規職員(人)	0.50	0.50	0.30	0.12	0.12		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	4,224	4,219	2,640	1,269	1,168	1,096		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	令和元年度は献血協力者数の減(新型コロナウイルス感染拡大による中止も含む)による事業費減							

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '特定健診・特定保健指導事業'.

2. 事務事業の概要

Table with 2 columns: 目的, 対象, 状態. Includes details about diabetes prevention and medical cost reduction.

3. 実施状況

Table with 11 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Includes data for '40~74歳新庄市国民健康保険加入者数'.

Table with 11 columns: 補足説明, 年度, 積極的支援(初回), 動機付け支援(初回), 法定報告. Includes a detailed table for '特定保健指導実施状況'.

成果(どのような状態になったか) 前年度から対象者を絞った受診勧奨通知を実施(国保連委託事業)。検診センターの新システムが軌道に乗らず通知の遅れ、電話勧奨者を減らした(勧奨通知あるため)等の理由で受診率が伸びなかった。(健康課推計受診率45.2%)。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1. Includes financial data for '事業費' and '事業費の算出根拠'.

1. 基本事項

事務事業名	健康増進事業			事務事業コード	222-102-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	高橋美咲
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	516
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業		評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業	
法令根拠	健康増進法 第17条第1項及び第19条の2				
条例・要綱等	新庄市健康診査等に係る費用の徴収に関する規則				
予算・事務事業名	一般会計	4款1項4目	健康増進事業費	予算コード	01-040104-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 14 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	中高年齢層(40~69歳)の市民の健康の保持・増進	事業内容	健康教育、健康相談、がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検診、訪問指導及び栄養改善事業。がん患者医療用ウィック購入助成事業。がん検診等については健診機関へ委託し実施。		
対象	中高年齢層(40~69歳)の市民				
目指す状態	中高年齢層の市民の健康の保持を図る。疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣病予防・慢性腎臓病の重症化予防を推進する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	主に事業対象とする40~69歳の市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
	説明(算式等)		実績	19,177	15,397	15,359	15,192	15,028	14,829	14,169	
活動指標	指標名称	重症化予防の健診後健康相談・訪問指導数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
	説明(算式等)		実績	210	238	292	326	17	26	-	
成果指標	指標名称	がん検診受診率(%) (胃・大腸・肺・子宮頸・乳がんの平均)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
	説明(算式等)	H28より対象者が変更	実績	41.1	42.1	17.5	16.9	16.1	15.1	25	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	※H27までの対象者=(国保+社保で市の検診申込者)-要介護4.5の者 H28からの対象者=全市民(40~69歳 ※子宮頸がん20~69歳)										
	※子宮頸がん・乳がん検診の受診者・前年度受診者+当該年度受診者-2年連続受診者(2年に1回の受診推奨のため)										
	年度	H30			R1			※重症化予防の対象者:平成29年度までは治療中の者にも指導を行っていたが、平成30年度から対象を、レセプトデータにより追跡した上で未受診者に絞り実施。			
		対象者数	受診者	受診率	対象者数	受診者	受診率	〔健康教育実施状況〕 74回 2,916人			
	胃がん	15,028	1,608	10.7%	14,829	1,415	9.5%	〔健康相談実施状況〕			
	大腸がん	15,028	2,399	16.0%	14,829	2,177	14.7%	○重点健康相談・・・糖尿病等 37回 140人			
	肺がん	15,028	2,437	16.2%	14,829	2,278	15.4%	○総合健康相談・・・定期相談等 167回 714人			
子宮頸がん	10,941	1,805	16.5%	10,712	1,724	16.1%					
乳がん	7,632	2,020	26.5%	7,573	1,899	25.1%					
計	63,657	10,269	16.1%	62,772	9,493	15.1%					
成果(どのような状態になったか)	検診機関の新システム導入による通知の遅れ等によって受診勧奨等に影響し、受診者数は減少した。地域における健康教育、健康相談の実施により健康意識の向上が図られた。										

4. 投入資源

							(単位:千円)		
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	52,412	53,298	51,349	49,245	47,790	46,305	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金		2,877				山形県健康増進事業費補助金	1,741	
	県支出金	2,292	2,464	2,622	2,192	2,037	1,741	各種がん検診等個人徴収金	15,447
	受益者負担	18,170	17,548	17,755	17,056	16,324	15,447		
	その他特財								
	一般財源	31,950	30,409	30,972	29,997	29,429	29,117	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	14,054	17,178	14,708	14,705	13,828	13,304	報酬	1,833	
内訳	正規職員(人)	1.80	2.20	1.90	1.86	1.81	1.71	報償費	268
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	需用費	1,194
費用合計(①+②)	66,466	70,476	66,057	63,950	61,618	59,609	役務費	2,986	
臨時嘱託等(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	委託料	39,500	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							使用料及び賃借料	2	
							扶助費	522	

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	新たなステージに入ったがん検診総合支援事業				事務事業コード	222-103-35	
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち			担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる			担当者	高橋 美咲
	施策名	2	健康づくりの推進			内線	516
事業区分	● 独自事業		○ 法定事業	○ 内部事業	評価区分	● 評価事業 ○ 説明事業	
法令根拠							
条例・要綱等	新庄市がん検診推進事業実施要綱						
予算・事務事業名	一般会計	4款1項1目	新たなステージに入ったがん検診総合支援事業			予算コード	01-040101-1000
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度		(1年限りの事業)		
	● 期間限定		始期 S23 年度	～ 終期 R2 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)		
	○ 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度	～ (期限の定めのない事業)			

2. 事務事業の概要

目的	がん検診の受診促進及び早期発見と正しい健康意識の普及啓発により、がんによる死亡者の減少を図る。		事業内容	がん検診における個別の受診勧奨・再勧奨を実施する。また、特定年齢の対象者へ子宮頸がん、乳がん検診無料クーポン券と検診手帳を送付し、がん検診の受診促進を図る。		
対象	20歳～69歳の女性及び40歳～69歳の男性					
目指す状態	市民の健康の保持及び増進を図る。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託
				<input type="checkbox"/> 補助・負担	<input type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
				<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
				実績	418	382	357	368	352	375	362
	子宮頸がん及び乳がん検診無料クーポン配布数		達成率								
活動指標	指標名称	無料クーポン対象で未受診者への受診勧奨通知数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
	説明(算式等)		実績	154	158	469	499	497	298	-	
			達成率								
成果指標	指標名称	無料クーポン対象者の子宮頸がん・乳がん検診受診率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
	説明(算式等)	H30より目標が35から30に変更	実績	26.9	21.5	21.5	23.4	28.7	22.1	30	
			達成率	76.9%	61.4%	61.4%	66.9%	95.7%	73.7%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	子宮頸がん・乳がん検診受診勧奨と受診状況(クーポン対象)						精密検査受診率				
	年度	H30		R1		年度	H30	R1			
		子宮頸がん	乳がん	子宮頸がん	乳がん	胃がん	89.9%	88.3%			
	勧奨件数	504		307		大腸がん	82.2%	85.3%			
	対象者	124	228	133	242	肺がん	83.3%	84.2%			
	受診者	22	79	19	64	子宮頸がん	93.3%	73.3%			
	受診率	17.7%	34.6%	14.3%	26.4%	乳がん	93.6%	94.2%			
	計	28.7%		22.1%		計	86.4%	86.8%			
	※対象: 子宮頸がん検診21歳、乳がん検診41歳						※受診率は、当該年度内に精密検査を受診した割合				
成果(どのような状態になったか)	無料クーポン券・検診手帳の配布により、対象者へ検診受診の動機づけ及び正しい健康意識の普及を図ることができた。乳がん検診の日程の十分な確保ができず、受診者数が伸びなかった。精密検査受診率は高い水準で維持することができ、疾病の早期発見に繋がった。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	2,873	2,473	653	604	709	561	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金	1,112	755	133	137	134	167	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	167
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	1,761	1,718	520	467	575	394	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	5,466	5,466	2,322	3,241	2,139	2,412	需用費	23	
内訳	正規職員(人)	0.70	0.70	0.30	0.41	0.28	0.31	役務費	95
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	委託料	443
費用合計(①+②)	8,339	7,939	2,975	3,845	2,848	2,973			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	がん検診及び精密検査の受診勧奨により、疾病の早期発見・医療費の抑制に結びついている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	がん検診受診の動機付けを図るために、各がん検診の対象の初期年齢であり、検診料金が無料となる21歳・41歳の女性を対象としている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	受診率が低い状況である。効果的なチラシや電話での受診勧奨を実施し、受診率向上につなげる。検診日程の確保を図る。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	クーポン券の作成は委託していたが、平成30年度からは市で作成し経費削減している。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	特定健診や他のがん検診の受診率向上の取組みと併せて、より効率的・効果的な受診勧奨を図る。また、母子保健事業とも連携し、受診率向上を図る。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市民に対する助成であるため。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	検診機関においても、普及啓発や休日検診の設定等の受診環境の整備、受診率向上に共に取り組んでいる。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	子宮頸がん・乳がん検診の受診率が低いという課題に基づいた事業である。検診の受診勧奨は、21歳女性には成人式の時期に実施する、41歳女性には休日検診の情報提供をするなどして年齢に合わせた方法で実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
子宮頸がん検診のクーポンの対象は21歳と若く、がん検診に対する意識が低い傾向にあり、受診行動につながりにくい。乳がん検診については、検診日を十分確保できず、受診勧奨の通知数も少なくなっており、受診の動機付けをする機会が少なかった。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

子宮頸がん検診と乳がん検診の無料クーポン券を、例年よりも早い時期(4月)に送付し、受診期間を広げる。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
子宮頸がん検診は、検診の知識の啓発方法や年代に合わせた効果的な受診勧奨方法を再度検討し、実施する。 乳がん検診は、より受診しやすいよう休日検診などの情報を市報やチラシなど活用し、周知する。また、他のがん検診や特定健診の受診率向上のための取組みと併せて受診勧奨を実施する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	いまだ目標受診率とは乖離しており、クーポン対象年齢以降の受診に繋げるために、さらなる受診勧奨に努めていく。	所属長評価	受診率向上につながる効果的な手法を模索しながら、地道に事業継続していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等				
<input type="checkbox"/> 現行					
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()		
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()		
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保	
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足	
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他	
総合意見					

1. 基本事項

事務事業名	保健センター管理運営事業			事務事業コード	222-104-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	佐藤 里美
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	513
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市保健センター設置及び管理条例				
予算・事務事業名	一般会計	4款1項3目	保健センター運営事業費	予算コード	01-040103-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 S54 年度 ~ 終期 R2 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	健康の保持増進を図る目的を達成するために、安心と安全に配慮した管理運営を行う。	事業内容	保健センターを会場に種々の保健事業を行う。 また、施設管理のため、環境整備に努め、施設定期点検を行う。 (昭和55年開設し、平成19年から夜間休日診療所併設となる。)		
対象	全市民				
目指す状態	市民の健康保持増進の活動拠点として運営する。		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	全市民(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
	実績		実績	37,790	37,407	36,833	36,463	36,028	35,465	35,000	
活動指標	指標名称	年間利用回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
	実績		実績	260	249	249	219	222	254	—	
成果指標	指標名称	保健センター利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
	実績		実績	5,721	4,686	4,587	3,902	4,039	4,329	—	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) ※人口減少を考慮した目標とする。										
	利用状況	H27		H28		H29		H30		R1	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
	健康相談	111	876	92	1,020	96	881	88	739	116	1,039
	健康診査	68	2,818	67	2,677	67	2,357	64	2,304	65	2,447
	健康教育	49	504	49	478	38	394	48	543	55	547
	その他	21	488	23	412	19	274	22	453	18	296
計	249	4,686	231	4,587	220	3,906	222	4,039	254	4,329	
成果(どのような状態になったか)	市民の健康づくりの拠点として活用している。										

4. 投入資源

(単位:千円)

事業費 … ①	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
	2,533	2,302	2,498	3,432	2,324	2,517	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	2,533	2,302	2,498	3,432	2,324	2,517	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	1,562	1,562	1,548	1,739	2,063	2,101	燃料費	279	
内訳	正規職員(人)	0.20	0.20	0.20	0.22	0.27	0.27	光熱水費	982
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	修繕費	308
費用合計(①+②)	4,095	3,864	4,046	5,171	4,387	4,618	施設管理業務委託料	568	
臨時嘱託等(人)							除排雪業務委託料	73	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	1561.6	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	健康づくり推進の活動拠点として機能している。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	対象に合わせた保健事業を実施している。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input checked="" type="radio"/> 向上の余地がない <input type="radio"/> 向上の余地がある	各種保健事業の定着が図られている。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	施設維持に要する経費が主であり削減は困難である。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	職員常駐の形態は行っておらず、清掃委託など最小限で維持している。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	各自治体に設置されている。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市民の健康づくり事業の実施施設であり、また直営の夜間休日診療所を併設しているため、現在の利用形態が最良である。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	夜間休日診療所を併設するなど、地域の課題に対応している。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
乳幼児健診をはじめとする母子保健事業全般や成人の健康診査等の実施施設として有効に活用されている。特に乳幼児や高齢者の利用割合が高いことから、より安全性に配慮しながら保健施設としての機能を維持する必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

安全性に配慮し、不具合等には迅速に対処している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
施設内の定期点検をはじめ、安全に配慮し活用に努める。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	健康づくりの拠点施設として、今後も安全で利用しやすい管理運営を継続していく。	所属長評価	夜間休日診療所も併設しており、安全安心な施設として管理運営に努めていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	食育・食生活改善事業			事務事業コード	222-201-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	鈴木理津子
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	516
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	国民健康保険事業特別会計	8款2項1目	健康づくり推進事業費	予算コード	02-080201-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 R2 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	生活習慣病予防のため、調和のとれた食習慣の普及に努め、幅広い世代の健康づくりを推進する。	事業内容	・新庄市食生活改善推進協議会に委託し、家庭訪問での塩分測定による減塩の普及啓発や各種料理教室、食育訪問活動、また農林課と共同で、小学生を対象とした収穫体験・料理教室を実施する。 ・新庄市食育・地産地消推進計画に基づき、ライフステージに応じた食育及び地産地消の推進を図る。		
対象	市民				
目指す状態	新庄市食生活改善推進協議会と連携協力し、食に関する正しい知識を普及し食文化の継承を図りながら食育及び健康づくりを推進する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	全市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込																																																					
	実績		実績	37,790	37,407	36,833	36,463	36,028	29,528	35,000																																																					
	説明(算式等)	統計でみる新庄市	達成率																																																												
活動指標	指標名称	開催事業数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画																																																					
	実績		実績	57	55	47	55	57	52	60																																																					
	説明(算式等)		達成率	95.0%	91.7%	78.3%	91.7%	95.0%	86.7%																																																						
成果指標	指標名称	事業参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標																																																					
	実績		実績	2,702	2,123	2,022	1,817	1,898	1,652	2,000																																																					
	説明(算式等)		達成率	135.1%	106.2%	101.1%	90.9%	94.5%	82.6%																																																						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																														
	* 新庄市食生活改善推進協議会(R1) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業数</th> <th>参加者数</th> <th>事業名</th> <th>回</th> <th>人</th> <th>事業名</th> <th>回</th> <th>人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性料理</td> <td>4</td> <td>42</td> <td>食育(新南高)</td> <td>2</td> <td>95</td> <td>花と緑のまちづくり</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>郷土料理</td> <td>4</td> <td>93</td> <td>食育訪問活動</td> <td>2</td> <td>33</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防</td> <td>3</td> <td>70</td> <td>研修会・会議等</td> <td>24</td> <td>275</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども料理</td> <td>3</td> <td>78</td> <td>県からの受託事業</td> <td>2</td> <td>62</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家庭訪問味噌汁塩分測定</td> <td>1(7月~12月)</td> <td>584</td> <td>健康福祉まつり</td> <td>1</td> <td>302</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										事業名	事業数	参加者数	事業名	回	人	事業名	回	人	男性料理	4	42	食育(新南高)	2	95	花と緑のまちづくり	6	18	郷土料理	4	93	食育訪問活動	2	33				生活習慣病予防	3	70	研修会・会議等	24	275				こども料理	3	78	県からの受託事業	2	62				家庭訪問味噌汁塩分測定	1(7月~12月)	584	健康福祉まつり	1	302		
事業名	事業数	参加者数	事業名	回	人	事業名	回	人																																																							
男性料理	4	42	食育(新南高)	2	95	花と緑のまちづくり	6	18																																																							
郷土料理	4	93	食育訪問活動	2	33																																																										
生活習慣病予防	3	70	研修会・会議等	24	275																																																										
こども料理	3	78	県からの受託事業	2	62																																																										
家庭訪問味噌汁塩分測定	1(7月~12月)	584	健康福祉まつり	1	302																																																										
成果(どのような状態になったか)	家庭訪問等の地域活動を通じて、減塩などの食生活改善について動機づけを図ることができた。また、各料理教室やイベントにおいて幅広い世代へ普及啓発を行うことができた。																																																														

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	200	200	200	200	200	200	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	200	200	200	200	200	200	主な歳出の内訳
人件費・・・②	3,123	3,123	4,645	2,056	2,903	3,034	栄養改善事業委託料	200
内訳	正規職員(人)	0.40	0.40	0.60	0.26	0.38	0.39	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	3,323	3,323	4,845	2,256	3,103	3,234		
臨時嘱託等(人)	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47		
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	各種料理教室は、幅広い世代への健康づくりを推進することができた。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	各種料理教室を通じて、食に関する正しい知識をそれぞれのライフステージに合わせて実施している。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	主に料理教室を通じて、バランスのとれた食生活の普及に努めているが、健康づくりのパンフレット等を活用し、より多くの場での普及活動ができる
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	事業費は、食生活改善推進協議会への委託料であり、すべて普及事業に使われているため削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	各種料理教室だけでなく、食育・地産地消推進のため様々な機会を使って健康づくりの働きかけを実施している。
	⑥他自治体と連携できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	食生活改善に関する情報交換、研修会などでの情報提供など連携を検討する余地はある。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	すでに食生活改善推進協議会と協力して実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	市内中学校区(5区)それぞれに食改の推進員がおり、生活習慣病に関わる減塩活動を重点的に家庭訪問、料理講習会等の活動をしている。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
食生活改善推進協議会と協力し、各種料理教室や地域普及活動を継続していきたいが、推進員の高齢化が進んでいる事もあり、活動範囲も制限されつつある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

市内中学校区(5区)の家庭訪問活動は継続しつつ、料理教室に関しては、学区ごとの見直しを行う。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
食生活改善推進員の養成講座を開催し、4名の新規会員を迎えることができた。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	事業効果を測定、検証しながら食育・食生活の改善に努めていく。	所属長評価	食育・食生活の改善のため、食生活改善推進協議会の充実・活性化に協力していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	○ 結びついている ● 見直しの余地がある	健康づくりの推進には繋がっている。しかし、14団体の事業所が関わっている中で、複数の福祉施設が物販中心になっている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	健康・福祉施設関係の事業所が多く参加しているため、幅広い年齢層に普及啓蒙する良い機会になっている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	参加団体の出展内容を工夫する必要がある。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	参加団体については無報酬でご協力いただいている。経費については最低限の消耗品のみであり、削減の余地は無い。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	展示内容・参加団体数・終了時間等の見直しで改善する余地がある。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	連携については可能であるが、ブースの利用となると、これ以上参加団体を増やす事は困難である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	すでに協働で実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	幅広い年齢層への情報提供ができ、実情に合わせた事業となっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
出展内容等の見直しについて各事業所からは特段の提案は無く、事務局側からの案に賛同するような流れになっている。来場者は昼を目的に減少する傾向があり、午後からのステージ発表を増やしても、前年度と変わらなかった。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

健康課の測定コーナーが混雑するのは例年の事で、測定器具を増やした事で、多少は緩和されたように思われる。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
出展内容だけでなく、事業の見直しが必要である。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	健康と福祉のイベントとして定着しているが、催事内容が固定化の傾向にある。事業の目的達成にあたり、本事業の縮小・終了も視野に入れ、事業継続について検証していく。	所属長評価	事業目的達成のため、新たな手法を構築すべきである。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Contains details for '新庄かむてん健康マイレージ事業'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 目指す状態. Includes '事業内容' and '実施形態' sections.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Includes '補足説明' section with detailed metrics.

4. 投入資源

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1. Includes '事業費の算出根拠(R1)' and '内訳'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	健康づくり事業(出前講座、健康教室・相談、健康イベント等)でマイレージ事業の参加を促すことにより、健診受診率の向上と健康づくりを推進することができる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	前年度と比較すると、40歳代までの参加は倍に増えたが、50歳代への健康づくりの意識づけが必要である。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	高齢者に片寄ることなく、年齢別にバランス良く、より多くの新たな参加者を増やし、健康への意識を高める。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	達成者への景品は、52名から12名に削減しており、これ以上の削減の余地は無い。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	出前講座・健診時相談などの機会に、継続して普及啓発をし、達成者を増やす。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	県のやまがたマイレージ事業と協働して実施している。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	市内公共施設や企業、関係団体の協力をいただき、啓発している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	65歳以上の人口割合が、市民の約1/3を占めているが、より幅広い年代への、健康づくりの意識づけに繋がっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
特定の年代(後期高齢)に片寄ることなく、幅広い年代への周知・啓発が必要であるが、特に50歳代への意識啓発が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

より多くの市民に、マイレージ事業を知ってもらい、新規参加者への普及に取り組む。R1年度においては、新規参加者が全体の8割弱おり、確実にマイレージ事業が浸透しつつある。また参加者の家族への普及にも取り組んでいる。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
健康教室、講座、イベントなど様々な機会をとらえ、健康への関心を深め、健診の重要性の理解を図り、受診を勧めマイレージ事業への参加を促す。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	前年より69人増加となり着実に成果を上げている。ポイント達成者をさらに増やすため、機会あるごとに周知するとともに、4年目を迎えた今年度は対象を絞った働きかけの繰り返しも必要である。	所属長評価	市民の健康意識の向上、行動変容につながる事業であり、達成者拡大に努めていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name, objectives, codes, and periods. Includes details for '精神保健事業' (Mental Health Project).

2. 事務事業の概要

Table detailing the project's purpose, target audience, and implementation status. Includes '目的' (Purpose), '対象' (Target), and '実施形態' (Implementation Form).

3. 実施状況

Table showing implementation status with columns for years (H26-R1) and R2 targets. Includes sub-tables for '活動指標' (Activity Indicators) and '成果指標' (Outcome Indicators).

4. 投入資源

Table detailing input resources with columns for years (H26-R1) and R2 targets. Includes sub-tables for '事業費' (Project Costs) and '人件費' (Personnel Costs).

1. 基本事項

事務事業名	予防接種事業			事務事業コード	222-301-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	原章
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	513
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業 <input type="radio"/> 評価区分 <input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業				
法令根拠	予防接種法第3条、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第3条、				
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	4款1項2目	予防接種事業費	予算コード	01-040102-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 昭和 24 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	感染症の発症を予防することにより、疾病の流行の防止と、感染症による患者の発生を減少させる。	事業内容	委託医療機関による個別接種の実施。 【定期予防接種】 ヒブ、小児肺炎球菌、BCG、MR(麻疹・風しん)、四種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ)等、二種混合(ジフテリア・破傷風)、日本脳炎、水痘、高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌 【任意予防接種】 成人風しん		
対象	予防接種法に規定された対象者及び市実施要綱に定められた者				
目指す状態	安全な予防接種の実施及び予防接種率を高め、感染症の発症を予防する。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	定期予防接種の対象延人員(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	22,017	19,807	20,020	20,474	20,377	18,836	
説明(算式等)		達成率								
活動指標	指標名称	定期予防接種の接種延人員(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	11,669	10,835	11,453	11,238	11,698	11,426	
説明(算式等)		達成率	96.5%	89.6%	94.7%	93.0%	96.8%	94.5%		
成果指標	指標名称	定期予防接種の接種率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	53.0	54.7	57.2	54.9	57.4	60.7	
説明(算式等)		達成率	75.7%	78.1%	81.7%	78.4%	82.0%	87.4%		

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) ※人口減少を考慮した人員とした。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
補足説明	合計	11,238人	11,698人	11,426人
	内訳	・小児 6,169人	・小児 6,519人	・小児 5,798人
		・高齢者 5,069人	・高齢者 5,179人	・高齢者 5,566人
				・成人 62人
麻しん・風しん I 期接種率		98.8%	107.5%	94.8%
高齢者肺炎球菌接種率		27.8%	27.7%	30.9%

※令和元年度より緊急風しん抗体検査等事業開始したため、対象者及び、接種者に追加した。

成果(どのような状態になったか)	予防接種による感染症の発症・重症化予防が推進された。高齢者肺炎球菌の接種率が向上し、定期予防接種全体の接種率も向上した。
------------------	--

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	65,242	58,745	61,572	60,833	64,482	62,575	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金					1,781	疾病予防対策事業費補助金	1,781	
	県支出金	73	117	128	270	212	県風しん予防接種促進事業費	212	
	受益者負担								
	その他特財	171							
	一般財源	64,998	58,628	61,444	60,563	64,022	60,582	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	5,466	5,466	6,193	6,325	5,272	7,158	委員報酬	6	
内訳	正規職員(人)	0.70	0.70	0.80	0.80	0.69	0.92	需用費	185
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	役務費	773
費用合計(①+②)	70,708	64,211	67,765	67,158	69,754	69,733	予防接種委託料	61,388	
臨時嘱託等(人)							負担金補助及び交付金	222	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

1. 基本事項

事務事業名	口腔衛生意識普及向上事業			事務事業コード	222-302-35
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	健康課
	政策名	2	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	担当者	川田 健介
	施策名	2	健康づくりの推進	内線	515
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	国民健康保険事業特別会計	8款2項1目	健康づくり推進事業費	予算コード	02-080201-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 S13 年度 ~ 終期 R2 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	幅広い世代において口腔衛生の意識を高め、口腔の健康の保持を図る。	事業内容	(一社)新庄地区歯科医師会に事業の実施を委託し、無料でのフッ素塗布・歯科相談や80歳で20本の歯を持つ人の表彰等のイベントを開催する。		
対象	市民				
目指す状態	口腔衛生の意識を向上させることにより、幼児期のむし歯を減らし、生涯健康な歯を残す。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	全市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	37,790	37,407	36,833	36,463	36,028	35,465	35,000
説明(算式等)			達成率							
活動指標	指標名称	むし歯予防啓発イベント開催回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	2	2	2	2	2	2	2
説明(算式等)			達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	
成果指標	指標名称	3歳児のむし歯のない児の割合(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	77.1	81.6	80.6	78.4	76.0	84.6	100
説明(算式等)		3歳児健診	達成率	77.1%	81.6%	80.6%	78.4%	76.0%	84.6%	
(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
補足説明	1. お祭り歯っぴい(歯と口の健康週間イベント)					2. 8020歯の長寿者表彰・講演会				
	(期日)令和元年6月1日(土) (場所) ゆめりあ ・ 歯科相談・ブラッシング指導 50名 ・フッ素塗布 200名 ・かやのみ会による紙芝居等					(期日)令和元年11月16日(土) (場所) 市民プラザ ・8020歯の長寿者表彰者 34名 ・講演会 67名				
成果(どのような状態になったか)	イベント開催により幅広い世代に口腔衛生に関する知識を普及し、参加者に口腔の健康保持の意識向上を図ることができた。歯磨きの習慣や食生活の改善の推進を図ることによりむし歯予防の意識向上につながっている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費 ... ①	615	465	449	473	432	438	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	615	465	449	473	432	438	主な歳出の内訳		
人件費 ... ②	1,562	1,562	1,548	1,897	1,452	1,478	口腔衛生意識普及向上業務委託料	46	
内訳	正規職員(人)	0.20	0.20	0.20	0.24	0.19	0.19	8020運動推進業務委託料	320
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	会場使用料	15
費用合計(①+②)	2,177	2,027	1,997	2,370	1,884	1,916	需用費(消耗品費)	57	
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	口腔の健康に必要な知識の普及・啓発により、市民の歯科保健及び健康の保持・増進を図ることができる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	口腔の健康を保持するための知識の普及・啓発の役割を果たしている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	イベントの周知を広く図るとともに、特にむし歯サミットについては市民のニーズに合った事業内容や開催時期、イベントの統廃合を検討することで口腔衛生の推進が向上する余地はあると思われる。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	業務を受託する(一社)新庄地区歯科医師会では、市が支払う委託料以上の経費を伴っているため、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業費の8割以上が歯科医師会への委託料であり、人員改善の余地は無い。イベントの中にフッ素塗布や歯科相談など専門的知識を要する内容を伴うことから、歯科医師会への委託という実施形態は適正である。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	幅広い世代において口腔衛生の意識を高め、口腔の健康増進を図るという目的は各自治体共通であるため。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	歯科医師会と官民協働で事業を実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	20年以上の開催実績があり、市民に定着した歯科イベントとして、幅広い年代に働きかける機会となっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
口腔衛生意識の普及・啓発に一定の効果을 上げている。さらに幅広い年代の市民への参加を呼び掛け、むし歯・歯周疾患予防などを通して口腔衛生の普及・啓発を推進していく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師会、最上保健所、市教育委員会、市健康課において、年2回の四者協議会を開催し、事業内容について協議している。 ・むし歯サミット講演会の周知については、関係機関の協力を得ながら、市内の関係施設、店舗等はもとより郡内町村、小中学校へ広報物を送付し、参加を呼びかけている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
市民のニーズを把握し、それに合った事業内容となるよう、歯科医師会と連携していく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	イベントは定着しており、今後も関係機関と連携し、広く参加を呼びかけ、事業を実施していく。	所属長評価	イベントは定着しており、参加者の拡大、内容の充実を図っていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				